

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年1月28日～2017年2月3日の推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルでは上昇しましたが、対円では下落しました。債券は金利が低下しました。

基礎的財政収支の赤字幅が市場予想より小幅であったため、中央銀行による利下げ余地が拡大するとの思惑が強まったことが、金利低下の材料となりました。また、ブラジル議会の上下両院の議長選挙が行われ、下院議長はマイア現議長が再選、上院議長には新たに与党PMDB(民主運動党)のオリヴェイラ氏が選出されました。両議長ともテメル政権寄りのため、市場では財政再建に対する安心感が広がり、ブラジル金融資産の上昇につながりました。

海外要因では、米国のトランプ大統領による他国の通貨安批判や入国規制の大統領令を懸念し、米ドル安(レアル高、円高)となりました。また、米国の雇用統計の結果、平均時給の伸びが市場予想を下回ったことで、新興国の資産への資金流入が見られ、レアル上昇の要因となりました。

【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標が発表される予定です。インフレ率の低下が予想を上回る場合は、利下げ観測が高まると想定します。先週は、大手石油会社をめぐる汚職への関与容疑で逮捕されている建設会社幹部の司法取引を最高裁判所が承認したことで、政治家に対する汚職捜査が進展し、テメル政権の目指す社会保障改革に影響が出るのではとの懸念が強まりました。一方で、新たな議長の選出により2月から始まる議会の運営が安定し社会保障改革が進展する期待もあり、引き続き財政再建の動向が注目されています。

公的年金支給年齢の引き上げや社会保障改革などの緊縮策には各方面から反発も予想されますが、政権が財政健全化を着々と進め、海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジルへの投資活発化を通じてレアルが下支えされることが期待されます。

【3】主要経済指標

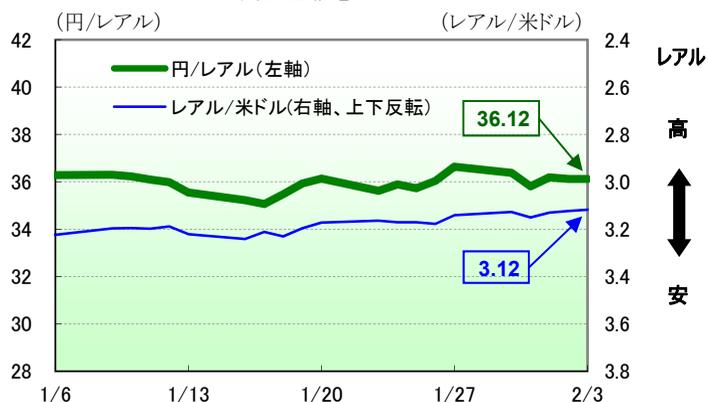
発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
1/31	毎月	2016年12月	基礎的財政収支(億ブラジル・レアル)	-707	-391
1/31	毎月	2016年12月	純債務対GDP比	45.9%	43.8%
2/1	毎月	2016年12月	鉱工業生産(前年同月比)	-0.1%	-1.2%
2/1	毎月	2017年1月	ブラジル製造業購買担当者指数(PMI)	44.0	45.2
2/3	毎月	2017年1月	ブラジル購買担当者総合指数(PMI)	44.7	45.2
2/8	毎月	2017年1月	インフレ率(前年同月比)	--	6.29%

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年1月6日～2017年2月3日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年1月6日～2017年2月3日)

